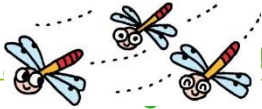




あした

明日もしあわせ通信 (第39号)

子ども総合センターだより
令和元年9月号



相手を責めないで

京都から東京に行くのに、久しぶりに新幹線に乗ってみた。駅のプラットフォームには、上下線共にひっきりなしに新幹線が入ってくる。予定した時刻にぴったりと到着し、そして出発する。さすが日本の新幹線だ。東京駅に着くと、すぐにJR山手線に乗り換え、私鉄の電車へと乗り換える。京都駅から目的地に到着するまで、電車を待つこともなく、乗り降りが出来た。その正確さと電車の便の多さ。そして、どこからともなく集まってくる人の流れ。急ぎ足で通り過ぎて行く人、また人。その日々の繰り返し。その暮らしに



慣れてしまうと、電車が10分も遅れてしまうと、不満も口に漏れてきそう。当たり前のことが当たり前でなくなると、誰も不機嫌になる。

身の回りの生活も同じ。ほぼ定時に届けられる新聞が届いてない。夕食時にご飯が出来ていない。お風呂が沸いていないと・・・不機嫌になる。それぞれに事情があつてのことだけどつついっけ苛立ってしまい、相手を責めてしまう。得てして、自分にゆとりのない時に限って苛立ってしまうもの。特に、子育て中の家族は大変。子どもの予期せぬ行動に振り回される日々。自然とストレスも溜まってくる。

そのはけ口が、子どもたちへ向かないことをいつも願っています。(K・H)

いよじのしゃべり場 9月25日(水)13:00～ だよ☆

気軽に遊びにきてね♪♪



適応指導教室「はばたき」のぞいてみませんか？

はばたき教室が開設して3年が過ぎました。3年の間に、子どもたちは学校に行けないことを悩みながらも、しかし、いつしか「心の居場所」を見つけて少しずつ元気を取り戻し、卒業した子どもたちは全員元気に高校に通っています。在校生の小中学生も部分登校できるようになっています。

学校に行きにくい子にとって、はばたき教室に来ること自体もとても勇気があることです。子どもたちは、ここで学習やスポーツ、調理実習などの体験活動を通して、徐々にコミュニケーション力や自信をつけていっています。

2学期が始まりました。学校に行きにくく、家庭で悩んでいるお子さん、そして保護者の皆様、家族だけで悩まないで、「はばたき教室」をのぞいてみませんか。もしかしたらお子さんの気持ちに変化が出るかもわかりません。



「ここなら自分も来られるかも？」と自分で思えるようになったら一歩前進です。子どもに自分で決めさせ、自分の目指す道に進めるよう、教室でもサポートをしていきたいと思ひます。

忘れられないチャボのこと

数年前、ある幼稚園を研究会のために訪れたときのことです。

今にも雨が降りそうな空模様でしたが、園庭のここそこで子どもたちは、それぞれに自分の思いを表出させて遊んでいました。活動の様子やつぶやきに心を寄せているうちに、参観保育終了の時刻となり、園児は保育室に入りました。それを待っていたかのように雨がふりはじめました。参観者もあわてて園舎へ入ります。園庭にふと目をやると、チャボがいました。なんだか歩きにくそうなチャボ。と、よく見ると、親鳥の羽の下に、小さなチャボの子が4羽、雨が当たらぬように身を寄せているのです。親チャボは雨から子チャボを守るために羽を開いているのでしょうか。その体勢のまま、ゆっくりと、雨に影響を受けない場所まで、子チャボとともに歩いていきました。そこには、とさかの立派な父鳥が…。ああ、チャボの家族…。なんだか温かい気持ちになりました。

この光景を見て、親子の情愛とか、母性とか言うのは的外れかもしれませんが。でも、こんなチャボ一家とともに育つ園児は、きっと何かを学ぶはず、と思いながら園を後にしました。今もまぶたに焼き付いて離れない思い出です。(W)

《センター長のつぶやき》

「注文をまちがえる料理店」

伊予市内でも、「子ども食堂」が各種団体や有志の皆様で開催されています。民生児童委員さんの「にこにこ食堂」の様子をお聞きすると、大変ご苦労が多いこと、愛情を持って取り組んでいらっしゃるなどを感じます。どこの「子ども食堂」も、同じようにご苦労が多いことだろうと頭が下がります。

さらに今、注目を集めているものに、今年東京で開催された「注文をまちがえる料理店」があります。なんと、注文を聞くスタッフがみんな「認知症」の方だということです。このプロジェクトのことが、SNSを通じて日本だけでなく世界中に知られています。

「カレーライスを注文したらハンバーグが出てくる」そのハンバーグを、笑顔で食べているお客の様子が目に浮かびます。ちょっとしたことでいらいらしたり、怒鳴ったり、手をあげたり、そんなことも多く耳にする世の中にあって、「注文をまちがえる料理店」へ笑顔で足を運ぶ人たちの、「優しさ」「寛容な気持ち」が、大きく社会に広がっていけばいいなと思う今日この頃です。(DOI-G)

巡回相談

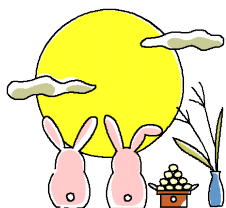
児童発達支援機関に訪問した際、ある男の子がとても落ち着いたと聞きました。

2年ほど前、友だちとのトラブルが多く、注意されると飛び出したり、ふてくされて物にあたりたりしていた子でした。

今は、注意されても我慢して気持ちを切り替えようとしていると言われました。

友だちができ、ここに居たいと思う気持ちができるから、注意されても聞けるようになったそうです。自分を振り返るのが苦手だった子が指導の先生の愛情ある見守りと集団の力で成長したことを感じました。

(A)



伊予市子ども総合センター

伊予市尾崎3-1

総合保健福祉センター2階

(電話) 089-989-6226

